

創作プログラムについて



「小さいあおもり犬をつくる」 (所要時間 2 時間)

テーマ：立体から平面に、そしてさらに立体に。よく観るということ。
奈良美智のコミッションワークであるあおもり犬を、まずはスケッチ。
そのスケッチをもとに、それぞれ小さなあおもり犬を紙粘土で制作。

「いろんな素材をつかう」 (所要時間 2 時間～3 時間)

テーマ：絵を描くだけが絵画じゃないよ。
各自、持ってきてもらった紙や、小物、美術館にある材料をつかって、コラージュ作品を作る。
キャンバスの綿布を、つぎはぎ状にしたり、封筒の裏に描くことによって、
面白いマチエール (画肌) をうみだした奈良美智の作品や、
古文書や、鮮やかな色彩の爆竹をはりつけて、津軽を表現した村上善男の作品、
また、ジャンク・アートで知られる小野忠弘や、
齋藤義重のスプルー素材をすべて黒くぬった板で空間を構成していく作品などを紹介し、
様々な素材を使用して、一定の空間、または画面を構成していくことによって、作品をつくるプログラム。

「怪獣デザインを考える」 (所要時間 2 時間)

テーマ：デザインって何？
成田亨の怪獣デザインの3原則を守りながら、くじ引きによって決めたテーマに沿って怪獣をデザインする。
これによって、「デザイン」とはいったいどういうことを学ぶ。
参考に、当館の建築とV.I.のことや、各展覧会のポスターデザインのこと、
また、当館で所蔵している、寺山修司の演劇ポスターなどを紹介していく。

その他にも、テーマにしてほしい題材や作家がありましたらご相談ください。